



## 新成人へのお祝いの言葉

公民館長 銭谷 譲一

本日、晴れやかに成人式の日を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。

昨年は、平成の天皇陛下が退位され、皇太子殿下が第百二十六代天皇に即位され輝かしい令和時代の幕開けとなりました。

同じく昨年はスポーツ界においてもレスリングの吉田沙保里選手やイチロー選手らが引退しましたが、反対に、皆さんと同じ世代の、バスケットボールでは八村塁選手、ゴルフでは渋野日向子選手の登場もありました。こうした新時代到来の中、大人の仲間入りをされた皆さんが、これから歩んでいく社会には、これまでとは違った様々なことも起こりうることでしょう。

それら乗り越えていくには柔軟な考え方を持つことが大切です。その柔軟さとは問題に立ち向かった時、考え方を素早く切り替えて行くことだと私は考えています。例えば、農業の世界においても、これまで農協に出せば売ってくれるという構造だったものから、LINEでの取引きであったり生産者の顔が見える経営や、北海道では無人トラクターが稼働するなど情報発信の見直しやロボットが果物や野菜を収穫する未来へのイノベーションが考え始められているようです。



皆さんも自分の人生に対してそれぞれ夢や希望を抱いておられると思います。ぜひ地道な努力とフレキシブルな精神、そして、ここまで育ててくれた、ご家族や支えて下さった先生方、先輩や仲間への感謝の気持ちを忘れずに実現させてほしいと思います。

今年夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。もっと身近なところでは、春には金沢港クルーズターミナルが完成し歴史の新しいページがめくられます。

この金沢・大野に生まれ育ったことに誇りを持ち、この新時代と共に皆さんが大いに活躍されることを心から祈念申し上げます。

終わりに、成人者のご家族の皆様にもお慶びの言葉を申し上げ、本日出席の皆様のご健勝をお祈り致します。

大野町成人式(二月二十一日)



謝辞

成人者代表 米田稀世季

本日は私たち新成人の為に、このように盛大な式典を催して頂きましたことを、心よりお礼申し上げます。また、多数の皆様から身に余る、お祝いの言葉をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎え、これまで温かく支えてくれた家族をはじめ、共に高めあってきた友人、色々とご指導していただいた恩師や地域の方々に心より感謝いたします。

私達は大野町に生まれ、幼い頃から日本海の波の音、潮や醤油の香りの中で育ち、悪魔払いや獅子舞などの伝統文化を体験しながら大きくなりました。

大野町は生まれ育ち安心できる場所であり、子どもの頃から友人や可愛がつてくれた多くの先輩がいる故郷です。

昨年は日本の元号が新しく令和



に変わり、新しい時代を迎えた特別な年でした。令和という言葉には美しい調和という意味が込められているようですが、そんな時代に私たちも困った時に助け合い協力し支え合う関係を築き、美しく調和のある大野町にしていきたいと、成人になった今、改めて感じています。

さらに今年二〇二〇年は東京でオリンピックが開催される年であり、世の中は、どんどんとグローバル化してきています。未だ未だ未熟な私達ですが、今よりも、もっと広い視野を持って、いつか社会に貢献出来る大人になる為に努力してまいります。

どうか、今後とも末永くご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



# 平成最後の研修旅行記 (四月二十八日～三十日)

視聴覚部副部長 中 邑 康 弘

四月二十八日(日)から二泊三日で九州方面へ公民館研修旅行に参加してまいりました。公民館の役員になって二年目ですが、前回は仕事の都合で参加出来ず、今回は初参加だった訳ですが、今回は例年と違い二泊で遠方と言うことで、予約を入れた時から楽しみにしていました。

二十八日朝、小松空港集合、天候は小雨。行きはジェット機、帰りは最新鋭のプロペラ機。飛行機好きには楽しみなポイント。心地よいGを感じながら雲海を突き抜け高度一万mへ。

市街地に程近い福岡空港に到着。ホテルにチェックインして、「太宰府天満宮」へと移動しました。菅原道真の御墓所として一千年前から崇められ、全国の天満宮の総本宮です。若いときに参拝出来たら、もう少し賢く成れたでしょう。一旦解散して自由に周れたので、庭園や建物を観たり、九州最初のラ



太宰府天満宮

ーメンもいただきました。福岡市内に戻り、西日本一の歓楽街、中洲で博多名物の水炊きを食べに行きました。「美味い・お腹いっぱい」の言葉以外見つかりません。参加の皆さんとその日の旅を振り返りながら、楽しい時を過ごせました。お腹いっぱい二杯目のラーメンは断念。

二日目 はマイク ロバスに乗って長崎県へ。荒天の長崎港から船に乗り換え、世界文化遺産の「軍艦島(端島)」に向かいました。海は大時化で立つてられないぐらいの揺れの中、小雨煙る奥に軍艦島が見えて来ましたが、同時に危険な為に着岸できないとの案内が。周囲を周遊するのみとなりましたが、逆にじっくりと島の全体像が観れて良かった気がします。近代の人工物の遺産登録に賛否はあると思いますが、東京の十八倍の人口密度だった当時の島の活気を想像しながら眺めました。



軍艦島(端島)

何名か気分を悪くした方も居ながら、なんとか長崎港に戻り、七十四年前に原爆が投下された長崎で世界平和を祈念してつくられた、平和公園に向かいました。広島にも行ったことが無い私は、当時の悲惨な状況や今でも残る痕跡、特に車窓から片足鳥居などを見て、平和記念像の前に頭を垂れるしかありませんでした。



平和記念像

二日目のお泊りは、日本三大美人の湯で知られる嬉野温泉です。その中でも老舗の和多屋別荘にお世話になりました。基本は和のスタイルですが、増築改修を重ねてのせいですが、随所に西洋の様式が取り入れられ、明治大正のノスタルジーを感じさせる空間。お風呂は嬉野川を眺めながらの露天風呂もあり、これまでの疲れを癒して明日への活力が得られる素敵な宿でした。先の佐賀豪雨では市街地には大きな被害があったようですが、各温泉施設は無事だったようでホッとしました。楽しい旅行も最終日。朝から向かったのは、天照大神の三女神が祀ら

れる宗像大社です。宗像大社と言えば、やはり「神の宿る島」沖ノ島です。渡る事は出来ませんが、神がまだ人の形をしていない、太陽や岩、風など自然そのものを神として崇め祀った時代を思うことができ、鎮守の森の中では澄んだ空気を吸い、そこに生きる草花や昆虫を見て、身も心も浄化された気がしました。

清らかなったところで、美味しい酒蔵めぐりです。石蔵酒造さんの博多百年蔵。古い昔ながらの蔵をリノベーションして上手に店舗として活用しています。どこと無く大野のお醤油屋さんを思い出す雰囲気。お酒もお料理も美味しくいただきました。

旅行最後は「博多 食と文化の博物館」。なんて事ない、明太子で有名なふくやさんの工場と展示館なんです。ガイドさんに連れられて、明太子の製造工程やふくやや博多の食の歴史を学んで来ましたが、ガイドのお姉さんが美人過ぎて、説明が全く頭に残ってないのは私だけではないはず。ねえ、○さん。

夕刻、福岡空港からカナダ製のプロペラ機にて小松空港へ。途中窓から見えた、西の雲海に平成最後の夕日がとても美しく印象的でした。

最後に、三日間の行程の手配や段取り、旅行中での各所への連絡調整などをしてくださった皆さんの労苦に深く感謝いたします。ありがとうございました。

# 『大野町をご案内!』を開催して(六月九日)

生涯学習部長 小林 史彦

この数年、大野町には新しい風が吹いています。新しい家が増えたり、新しいお店ができたり、新しい組織ができた。今年の「ふるさと再発見」シリーズの一回目には、そのような新しい風を感じながら大野町を巡るイベントを企画しました。題して「大野町をご案内!」。時折小雨が混じる中六月九日に開催しました。今回は三つの新しい動きに焦点を当てました。一つ目は町家再生の動き。二つ目は新しいイベント開催の動き。三つ目は新規主出店の動きです。

さて、当日。こまちなみ公園に集合し、まず向かったのは四丁目の通り沿いにある、工事中の足場が架かった町家です。かつて問明自転車店として親しまれたこの町家は、大野町内在住の方が購入され、全面的な改修工事が進行中です。その現場を見学させてもらいました。外観は自転車屋さんだったころの懐かしい姿に戻し、内部は土間やオエ、仏間、座敷、箱階段などの町家らしい特徴を残しながら水回りをリニューアルし、気持



尾山家

ちよく使えるようになること。仕事を担当された銭谷館長の解説に参加者はみな興味津々でした。

次に向かったのはもろみ蔵の小路。ここにはもろみ蔵を核にその周囲に、ガラス工房、洋服店、無国籍料理店が集積し、賑わいの中心になっています。この日はちょうど「蔵の楽」という今回が初開催のイベントが開催されており、町内外からの臨時出店も加えて大変な賑わいでした。これまで



蔵の楽

「こまちなみ」と「蔵の楽」が開催されてきています。町並みや港、食文化が、そして大野のひとの魅力がいろいろなイベントが開催されている素地になっていくでしょうね。イベントをもっと楽しみたい気持ちを抑えつつ、もう一軒の再生町家、新保家へ向かいました。かつて、フグの糠漬け・粕漬けの新松商店とし

て親しまれた町家、覚えていた方も多いいと思います。外観は出格子を復元して端正な表構えに、内部もオエの天井を撤去し元の吹き抜けに戻すなど、町家らしい空間になっていました。この町家の改修のポイントがミセノマにミニキッチンが設けられたこと。町家のミセノマは、元来通りに向かって開かれた部屋でしたが、生業やライフスタイルの変化の中で、箆筒部屋になったりして開かずの間になることが少なくありません。新保家では、ここにキッチンを設け、座卓を囲んで会食できるしつらえになっていました。いかにも仲間が集ってくる新保家らしいアイデアで、「こんな町家再生もありやね」とみな感心しきりでした。ミセノマに暮らしの気配があると、まちにも活気がうまれそうです。こんな再生事例が増えるといいな、と思いました。



新保家

最後に訪れたのは大野川沿いにある、かつて荒井鉄工所だった建物です。数年前にデザインと菓子製造をされているone incさんが空き家になっていたこの建物を気に入られ、デザイン事務所にかフェとショップを併設した施設として改修・オープン

ンされました。鉄工所のころのままの大きな横長の窓から望む大野川の風景が心地よく、「初めて来た」「こんな景色あったんだ」と、大野の魅力が再発見したひとときでした。ちよつと面白い本や雑誌も置いてありますので、おいしい飲み物をいただきますながら、ゆつたりとした時間を過ごすのによさそうです。大野にいながらちよつとお出かけ気分が味わえる、そんな場所でした。ホホホ座さん、大野での時間も楽しんでくださっているようで、祭り前の清掃にも参加されていますし、お祭り提灯まで新調されたとか。大野にいい風を運んで来てくれますね。

ホホホ座さんを出るころには雨も上がり、初夏の爽やかな風が大野川を渡ってくる、気持ちよい日になりました。週末・休日に金沢駅からのシャトルバスが運行されたり、レンタサイクルが供用されたりと、その後も大野町にはいろんな新しい風が吹いています。そんな風を追い風に、大野の町がこれまで以上に暮らして楽しい、友人を招いて誇らしい、そんな町になつていく予感を抱いた半日でした。



ホホホ座

校下体育祭(九月二十九日)

- 優勝 四丁目
- 準優勝 一丁目
- 三位 五・六・七丁目・けやき
- 四位 二・三丁目
- リレー優勝 一丁目
- リレー準優勝 四丁目



高橋体育部長の挨拶



銭谷館長の挨拶



川島壮年会長による成績発表



文化祭(十一月三日)



写真展



カラオケ教室のみなさん



作品展



くじ引き



模擬店(女性会)



模擬店(壮年会)



共進会太鼓教室のみなさん



三世交流ペタンク大会



地域サロンカラオケ教室のみなさん



女性会フラダンス教室のみなさん



サウンドワーク九里のみなさん



よさこい彪華のみなさん

# 活動アラカルト

## 第二十六回公民館ゴルフ大会 (五月二十六日)

白山カントリークラブに於いて

- 優勝 廣瀬 純一さん
- 第二位 蒲生 隆夫さん
- 第三位 栞野 茂さん



優勝の廣瀬さん



いつも元気な女性陣、はたしてスコアは？

## 各種団体ソフトボール大会 (六月二日)

- 優勝 大野町青年会
- 準優勝 大野クラブ



優勝した大野町青年会のみなさん



フルスイング!!

## 第四回西部室内ペタンク大会 (六月十六日)



勝負の結果は？



力投する和田副館長

## 盆踊り大会(八月三日)



じょんがら保存会のみなさん



女性会のみなさん



第四十四回  
市民ソフトボール大会  
(九月一日)

平成30年度 決算報告書  
2019年度 予算書

項 目		2019年度 予算額	平成30年度 決算額
歳 入	市委託料市委託料	12,979,000	13,410,000
	町会負担金町会負担金	3,000,000	3,076,225
	団体負担金団体負担金	73,000	730,000
	公民館使用料公民館使用料	220,000	236,400
	児童館負担金児童館負担金	230,000	223,433
	寄付金寄付金	200,000	179,000
	広告収入広告収入	350,000	342,000
	事業収入事業収入	1,150,000	465,000
	雑収入雑収入	350,000	339,730
	前年度繰越金前年度繰越金	1,783,000	1,659,064
	他会計繰入金他会計繰入金	0	270,000
	歳入合計歳入合計	20,335,000	20,930,852
歳 出	人件費・管理費	13,699,000	14,161,105
	少年教育費	195,000	166,543
	青年教育費	160,000	109,244
	女性教育費	280,000	257,284
	成人教育費	2,400,000	1,590,197
	高齢者教育費	100,000	80,000
	体育レクリエーション費	760,000	681,185
	視聴覚費	180,000	39,942
	文化祭費	400,000	381,067
	広報活動費	300,000	125,280
	成人式費	340,000	366,681
	社会体育大会費	880,000	829,017
	役職員研修費	500,000	359,324
	予備費	141,000	0
	次年度繰越金	0	1,783,983
	歳出合計	20,335,000	20,930,852



花いつぱい運動(十二月二十三日)



角松作り(十二月二十二日)



スポーツサンデー  
(二月十九日)